三条別院のご案内

真宗大谷派三条別院
TEL：0256-33-0007
E-mail：sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三条別院に想う

「エンターテインメントの可能性」

毎年行われているシアターサンジョーゴボー、お寺で演劇を観る貴重な機会は、地域の人にとっても『お祭り』なのではないかと思う。年に一度の機会に演出として関わることができるのは本当に嬉しいし、実のところ密かに念願叶ってのことだ。

私の行っている演劇活動の一つに「６５歳以上の劇団」がある。別院近くのステージえんがわがオープンすると同時にできた、全国でも新しい、シニア世代に向けた演劇のお教室。目的は、高齢化が進む中で認知症の予防や健康、シニア世代が活き活きと活動できる手段として『演劇』を通じて非日常の経験や体験、表現をする楽しさを伝えるために立ち上げた。もっと身近に、演劇を。「日常生活の中にエンターテインメントを」

人工知能が人間を超えるそんな時代に、絶対に超えることができないものは〈感情〉なのだと誰かが言った。演劇は小手先では絶対にできない、そんな世界だ。役の気持ち、相手役の気持ち、役者自身の気持ちとコミュニケーションを幾つも考え、観ている人に分かる表現をする必要がある。いじめや虐待といった人の気持ちや痛みが分からない人間の起こす事件が後を絶たない今、改めて表現って何なのだろうと演劇を通して伝えたい。

三条別院という場所で稽古をさせていただける日々を過ごす中で、誰もが気軽に、けれどもお寺という神聖な空気の中で演劇風景を観ることのできる環境というのは、地域の中に溶け込み伝え続ける、本当に目指す姿であると私は想い、今日も稽古をする。

周りを受け入れることができたり、自分の気持ちに自信が持てるようになったり、学校や大人が教えてくれないような経験や体験をもっともっとできる機会を増やしていきたい。

『演劇でしか表現できない子もいる』

子どもだけでなく、大人もきっとそうだろう。だから私は、いつでも公開稽古をするのだ。

岡田　美香　氏　（６５歳以上の劇団代表）

▲岡田さん（写真左）には２０１９年お取り越し報恩講のシアターサンジョーゴボーの演出をお願いしました。今年の演目は「いきもののきもち」。脚本は松本卓也氏。今年も僧侶エキストラも出演します。エキストラたちは岡田さんの優しいながらも厳しい指導に堪え、出演を果たせるのか？乞うご期待！

○次回の「三条別院に想う」は、
藤岡俊也　氏（佐渡組專念寺）より
ご執筆いただきます。

佐渡組職員巡回報告

これから、お取り越し報恩講がはじまりますが、現在、内陣の儀式作法講習会、掛役習礼、合唱団と女性僧侶及び式支配・司会者・輪番を交えた音楽法要の合同習礼が既に終了しており、原稿執筆時の十月二十八日現在では、法要については助音方習礼があと二回を残すのみとなっています。また、お取り越しお待ち受けの「ごぼさま寄席」も協賛企業はでそろい、中央商店街と協力したスタンプラリーは既にはじまっており、そして三条マルシェも十一月三日に念仏小路で初開催となっております。三条教区内の僧侶が集まって勤められる法要はお取り越し報恩講の「花形」であり、それを讃迎する諸行事も、非常に賑やかになってきています。一方で、報恩講実行委員会では、お取り越しの懇志を志納していただける寺院数が全寺院数の半数ほどしかないということが長く問題となっており、当時の参拝部からでた意見として職員が懇志をお願いするために、全寺院を回るべきだという意見がでました。そこで二〇一三年から各組の巡回をはじめ、本年は佐渡組を巡回することで、足掛け七年で、一通りの組・寺院の巡回を終えることが出来ました（今年は第二十一組は組長からの提案で職員が教化委員会に出席することで巡回にかえました）。これからは年に四ヵ組ずつ、継続していく予定です。

今回、佐渡組の寺院には、斎木と廣河が二名で巡回させていただき、両津から海岸線を赤泊方面へまわり、佐和田で一泊し、次の日は相川から島の中央を通り、両津に戻るというルートをとりました。なかなか実施に移すことができなかった佐渡組の巡回であるため、若干の雑感と報告をさせていただきます。

佐渡組は活動している寺院数は三十ほどですが、代務を立てている寺院が十ヵ寺ほどあり、今回実際に伺ったのは十八ヵ寺でした。佐渡の真宗大谷派の寺院は、意外と両津は少なく、佐和田地区・相川地区、島の中央地区にかたまってあるため（島の北部分にもかつては存在したが現在はない）、片野尾と赤泊の寺院以外は続けて訪問することができました。相川や佐和田には大きな伽藍の寺院が多く、それは佐渡金山・銀山の歴史によるものであると聞かせていただくこともありました。江戸時代以前は佐和田の鶴子銀山が栄え、その後は相川の金山の採掘がはじまり、徳川幕府直轄の天領として佐渡奉行所が置かれ、小判の製造も行われ江戸幕府の財政を支えたという歴史があります。しかし資源枯渇のため操業を休止したことで、状況は変わってしまったということです。佐和田の寺院では教如上人からの銀に対する御礼の御消息も拝見し、石山合戦が長期化する中で、資金的に佐渡の寺院が支えたという一面もあるようです。そして十月ということもあり、佐渡組内でも報恩講が順次勤まっているということで、組教導を中心に作成された「報恩講カレンダー」一部をいただきました。報恩講の儀式をしっかりと勤めている寺院が多く、一座ではなく一昼夜（二日間）勤めている寺院、あるいは二昼夜勤めている寺院などが多数ありました。佐渡には厳しい自然の中で育まれた念仏の伝統があります。

さて、「佐渡金山を世界遺産に」という動きもあり、二〇一〇年にはユネスコの世界暫定世界遺産リストに記載されたそうで、その中心となって活動している寺院もあります。人の流れは自然が見直されてきた昨今、大きく変わる時代に入ってきました。一年に四ヵ組ですので、十組から二十四組、佐渡組まで含める全十六組を、四年間で巡回する計画となります。佐渡組にも、また四年後には巡回することになります。雑感となりました。

（斎木）

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日　時　十一月二十八日（木）午前十時より

◆会　場　三条別院　本堂

◆お勤め（御命日　日中法要）

正信偈　真四句目下

念仏讃　淘五

和　讃　回口　次第六首

回　向　願以此功徳

◎今月の法話講師

安原陽一氏（第十二組安淨寺）～

『歎異抄』に聞く～【第五章】

◆今後の講師一覧

十二月　北島栄誠　氏（第十一組長福寺）【第六章】

▲法話の記録【廣河が「『歎異抄』に聞く」を聞く】をHPで更新中です！　http://sanjobetsuin.or.jp/

定例法話会のご案内

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。今回は**報恩講実行委員が講師**です！

◆日　時　毎月十三日　※八月、一月は除く

午後一時三十分より（一時間程度）

◆場　所　三条別院　旧御堂

九月：長田　暢　氏（第十六組善興寺）（終了）

十月：山宮　修霊　氏（第十五組永閑寺）（終了）

十一月：廣瀬　清和　氏（第二十二組淨念寺）

十二月：安原　陽一　氏（第十二組安淨寺）

◆テ　ー　マ：「別院の報恩講を勤めるということ」

その他の講座案内

○別院声明教室（全五回・途中参加可能）

〔月一回、午後六時～八時〕

八月二十九日（木）（済）、九月十日（火）（済）

十月二十一日（月）（済）、十一月十八日（月）、

十二月十一日（木）

講習内容　真宗大谷派勤行集（赤本）

講　師　多田　誓　氏（第十組專德寺）

参加費　五〇〇円／回

○別院書道教室（生徒急募！！）

〔月二回第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師　木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝　二七〇〇円（テキスト代含む）

○庭講【毎月十三日】

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○花講・三条別院有志の会

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

◆◆編集後記◆◆

仏教では法臘（ほうろう）といい、得度した時からの年数で序列を仮につける。座る際などの順序が必要であるから。別院では就職した順で座る。別院では法要の際、外陣は右から横一列（人数が多ければ二列・三列）に並んで座るので、別院の助音方は「列座」と呼ばれるのであろう（もともとは列になって座るという一般の言葉で、輪番が輪番制で住職の代理を務めるという言葉であるのと同様である）。何年か前に座る位置についてこの別院だよりに記したが、先般、列座を退職した先輩の寺院の報恩講で法話する機会があり、さらに考える機会をいただいたのでここに記す。すでに書いたことは、能力がなかろうと右側に座らなければならないということであり、能力があろうと左側に座らなければならないということである。世間ではありえない。世間ならば右側の者も、例えば年をとって体力が衰えれば転落するし、左側の者は虎視眈々と右側の位置を奪取することを狙っている。厳しい世界である。しかし別院でも漫然と座ることは許されていない。場所は決まっている。そこに座ることの役割を、（右からも）左からも、内陣からも見られている。世間のように比べるのではなく、そこに座って、おそらくは果たせないであろう役割を果たし続ける厳しさがそこにある。お取り越し報恩講がくる。声をそろえてお勤めしたい。

（斎木）

三条教区通信

第１４６号

発行日 2019 年 10 月 25 日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町 2 丁目 1-57
Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
Email: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webｻｲﾄ: http://sanjobetsuin.or.jp/

今 月 の 法 語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

真の知識にあうことは
かたきがなかになおかたし

『高僧和讃』 親鸞聖人

To encounter a true teacher is difficult even among difficult things.

Hymns of the Pure Land Masters, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

地震・台風・豪雨により被害を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます

このたびの台風 19 号により、お亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

10 月 15 日現在、東京教区では長野県の千曲川の氾濫における床上・床下浸水の被害が8ヵ寺、その他、風雨による瓦の破損等の被害、仙台教区では福島県の阿武隈川の氾濫における床下浸水の被害が 2 ヵ寺、宮城県の河川の氾濫における床上浸水の被害が 1 ヵ寺報告されております。門徒被害については情報収集中であります。

10 月 18 日より順次本山及び東京教務所の職員が長野県の被災寺院に赴いて泥出し作業等にあたっております。

なお、三条教区内寺院においては台風による強風により、庫裏の屋根のめくれや、軽微な瓦の破損や倒木による墓石の被害等が報告されております。

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

春と夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2019 年度においても引き続き勧募いたしております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、宗派では困難な状況に直面している被災地や被災者の方へ1日も早く宗派救援金をお届けするため、災害の種類や発生の有無に関わらず、「災害救援金口座」を設けて対応していくこととなっております。

このたびの台風19号による災害に対する救援金も下記災害救援金口座で受付をしております。何卒御協力をお願いいたします。（通信欄に台風 19 号と明記ください。）

真宗大谷派災害救援金口座
【郵便振替口座番号】00920-3-203053
【加入者名】真宗大谷派

研 修 会 の ご 案 内

仏青交流研修会　開催案内 既送

◆副 題 お坊さんはスパ研にいる
◆期 日 2019 年 8/31(土)済、9/21(土)済、10/12(土)中止、11/16(土)、12/21 (土) 各日 17:30～20:00
◆場 所 三条スパイス研究所
◆対 象 どなたでも
◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

教学研究会　開催案内 同封

◆日 時 ①2019 年 11 月 18～19 日(月火)
②2020 年 3 月 2～3 日(月火)
③2020 年 5 月 11～12 日(月火)
各回 第 1 日目 13:30～18:30(後、懇親会)
第 2 日目 10:00～17:00
◆場 所 三条別院
◆講 師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
◆内 容 教行信証 化身土巻
◆対 象 どなたでも
◆参加費 2,500 円／1 日(懇親会費別)
年会費の場合 10,000 円(全日分、懇親会費別)
◆教師陞補 教師陞補に必要な受講証(第 2 種)が発行される研修会です(2 日間参加が必要)。
◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

三条教区坊守研修会　開催案内 同封

◆日 時 2019 年 12 月 4 日(水) 午後 12 時 30 分開会
◆会 場 三条別院 旧御堂
◆講 師 木村邦和氏 (三条教区教化ｾﾝﾀｰ主幹、第 13 組専行寺)
◆講 題 「問いについて」
◆対 象 坊守・前坊守・若坊守・准坊守、その他どなたでも参加いただけます。
◆参加費 1,000 円(研修冥加金、お茶菓子代)
◆持ち物 真宗聖典、勤行本(赤本)、念珠、坊守章(お持ちの方)、筆記用具
◆申込み 11 月 25 日(月)までに各組坊守会長へお申込みください。

「教区秋安居」及び「事前学習会」　開催案内 既送

◆日 時 2019 年 12 月 9 日(月) 10:00～10 日(火)15:30
◆場 所 三条別院

◆講　師　田代俊孝氏（本年度安居本講講者・仁愛大学学長・同朋大学大学院客員教授）
◆テキスト「『愚禿鈔』講讃」 3,456 円（税込割引）
◆持ち物　真宗聖典、間衣・輪袈裟、略念珠、筆記具、その他必要なもの
◆対　象　どなたでも。申込不要
◆参加費　3,000 円
◆懇親会　1 日目夜の講師を囲んでの懇親会（会費制）に参加希望の方は当日受付でお申込みください。教区同朋会館に宿泊される場合は当日お申込みください（冥加金 500 円）。
◆教師陞補　教師陞補に必要な受講証（第 2 種）が発行される研修会です（2 日間参加が必要）。
◆問合せ　三条教務所（担当：西村）
◆事前学習会を開催します。どなたでも参加ください。
期日：　11 月 15 日（金）、22 日（金）、27 日（水）、29 日（金）、12 月 6 日（金）　14:00～16:00
会場：　三条別院
内容：　テキストの輪読

三条教区推進員教習　開催案内　同封

◆講　師　細川好圓氏（第 17 組護念寺）
◆問合せ　三条教務所（担当：西村）
☆前期教習☆
◆日　時　2019 年 12 月 14 日（土）～15 日（日）
◆場　所　教区同朋会館
◆対　象　真宗大谷派門徒の方
☆後期教習☆
◆日　時　2020 年 2 月 22 日（土）～24 日（月）
◆場　所　東本願寺同朋会館（京都）
◆対　象　各組同朋の会推進講座および教区推進員教習の、前期教習を修了した方

「差別と真宗」共学研修会

第 18 組重蓮寺　関﨑勝彦

9 月 12 日と13 日に、第11回真宗大谷派ハンセン病問題全国交流集会「富山から考えるハンセン病問題～病そのものとは別の苦しみ～」が、富山県で開催されました。

今回で 11 回目をむかえる交流集会ですが、私が参加するのは今回がはじめてでした。全国各地から多くの方々が参加されていました。また台湾と韓国からの参加もありました。

「富山宣言」採択の場面　会場サンシップ富山

「富山県にはハンセン病療養所がありませんが、「イタイイタイ病」という公害病の被害の歴史があり、患者本人だけでなく、家族親族も苦しい生活を強いられました。それはどんな被害であるのか。ハンセン病問題とイタイイタイ病問題との重なりから見えてくる相（すがた）を思い、聞こえてくる声を聴き、共感の世界をひろげたい。そして未来の世代に伝えていきたいという願いのもと、富山県での交流集会」（「開催にあたって」より）は開催されました。

6 月にハンセン病家族訴訟の勝訴判決があり、7 月には国の控訴断念後、内閣総理大臣が原告と面談し直接謝罪しました。今回の交流集会は「国のハンセン病隔離政策によってハンセン病回復者だけではなく、その家族にまで人生被害を及ぼした責任を認める画期的な判決が出された中での開催となりました」（「富山宣言」より）

基調講演では、東北学院大学准教授の黒坂愛衣氏より「被害当事者としてのハンセン病家族たち」という講題のもとお話がありました。ハンセン病家族の被害と今後の課題についてお聞きしました。その後、2 日間にわたって行われた「声に聞く」と題したショートレクチャーではハンセン病家族訴訟原告の方々やイタイイタイ病被害者家族の方などの様々な「声」を聞く機会をいただいきました。

「どうか私たち家族が、残る人生を偏見や差別におびえることなく、安心して生きられるような社会にしてほしい、と願っています」ハンセン病家族訴訟原告の原田信子氏の言葉です。偏見と差別におびえ、ハンセン病であった家族がいる事実を隠して生きていけなくてはならない社会をつくっているのは誰なのでしょうか。「声を聞く者」とはどういうことなのでしょうか。ハンセン病回復者の森元美代治氏が「自分がかわることによって社会がかわる」と語られていました。声をあげている方々の歩まれている道を共に歩ませていただく歩みをたしかめていきたいと思いました。

富山への道中では各別院に参りました（「城端むぎや祭」前の善徳寺）

駐 在 教 導 の つ ぶ や き

西村昌桐

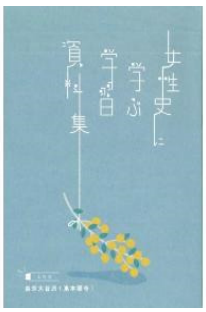
朝晩の寒暖の差のせいか何となく体調が思わしくない、なんて声を周りで耳にしますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？▼先日、家族で長岡にある新潟県立近代美術館にピクサー展を見に行ってきました▼ピクサーはアメリカのアニメーション映画会社で、コンピューターグラフィックスを使ったアニメーションが有名です▼コンピューターで作ると聞けばパパッと素早く出来てしまうのかと思いきや、中身は細かな人の手がかかったものばかり！▼24 分の 1 秒の 1 コマを作るのに何時間も何人もの作業を経て作られているのだ

そうです▼コンピューター音痴の私には途方もなく地獄の作業の様に見えたのでした。スタッフのインタビューなどを見ていると大変な作業とやりがい、困難を乗り越える楽しむ力を感じました▼それにしても、一つの作品に携わる人の多さにはびっくりします。作品にはコンセプトがあり明確な方向性があるものでしょう。それがなければ仕事の違う多くの人と作品を完成させる事は出来ないはずですね▼ピクサー展を見て、凄いなぁと、俺もがんばらなきゃなぁと思って挑んだ月曜日。風邪をこじらせ休んでしまいました▼皆様も季節の変わり目ご自愛ください。

教 務 所 か ら の お 知 ら せ

◎出版物のご紹介

女性史に学ぶ学習資料集



これまでの宗門の女性に関する制度・教学教化における歴史の史料を収集整理した学習資料集。

著者： 真宗大谷派解放運動推進本部女性室(編)
発行：2019/10/01
ページ数： 232p
判型：ISBN： 978-4-8341-0607-7
価格： 1,036 (通常 ￥1,296)

目次(一部抜粋)：
女性の住職就任への流れ
女性の得度と坊守制度
寺格・堂班・教師資格における女性への制約
宗会・教区・組での女性の参画

◎2019 年 年間書(法語カレンダー等)注文のお知らせ

ご注文後の内容変更は、以下の期間内お受付します。

配達時期	注文内容変更締切
12 月 10 日(火)までの配達	10 月 31 日(木)15 時まで

今後、年間書の取り扱いは 2020 年から本山一括管理となり、毎年決められた部数をお届けする定期購読制に変わります。

◎教区・別院行事予定 日程は変更される場合があります。

2019 年		
10/26(土)	13:30 14:00	おてらい講 於第 11 組浄福寺 真宗学院
10/27(日)	10:00 13:30	ｼｱﾀｰｻﾝｼﾞｮｰｺﾞﾎﾞｰ全体稽古 宗祖御命日逮夜法要
10/28(月)	10:00	宗祖御命日日中法要
10/29(火)	15:00	助音習礼④(別院報恩講)
10/30(水)	13:00	女性助音習礼③(別院報恩講)
10/31(木)	15:00	助音習礼⑤(別院報恩講)
11/1(金)	9:00 13:00	松葉幼稚園報恩講 別院報恩講準備
11/2(土)	14:00	真宗学院(振替授業第 2 限まで)
11/3(日)	10:00 14:00	三条マルシェ ごぼさま寄席
11/5(火)	11:00	報恩講お待ち受け音楽法要 真宗学院別院報恩講参拝
		～8 日 三条別院お取り越し報恩講
11/6(水)	19:30	ｼｱﾀｰｻﾝｼﾞｮｰｺﾞﾎﾞｰ『いきもののきもち』
11/9(土)	14:00	真宗学院
11/11(月)	14:00	靖国問題研修会部門会議
11/12(火)	15:00	保育研究部会 ～13 日 連絡協議部会・合宿
11/13(水)	18:30	書道教室
11/14(木)	14:00	教化ｾﾝﾀｰ 秋安居事前学習会①
11/15(金)	15:00	合唱団反省会(別院報恩講) 推進員教習部門会議
11/16(土)	14:00 17:30	真宗学院 仏青交流研修会～お坊さんはｽﾊﾟ研にいる
11/18(月)	13:30 18:00	～19 日 17:00 教学研究会① 別院声明教室
11/20(水)	14:00	企画委員会
11/21(木)	14:00	教化ｾﾝﾀｰ
11/22(金)	14:00	秋安居事前学習会② 全戦争犠牲者追弔法会実行委員会
11/23(土)	14:00	真宗学院
11/24(日)	11:00	宮大工長谷川熊平を考える会
11/27(水)	13:30 14:00 18:30	宗祖御命日逮夜法要 秋安居事前学習会③ 別院書道教室
11/28(木)	10:00 14:00	宗祖御命日日中法要 教化ｾﾝﾀｰ
11/29(金)	14:00	秋安居事前学習会
11/30(土)	13:00 14:00	保育講習会 真宗学院
12/4(水)	12:00	教区坊守研修会
12/6(金)	10:30	女性研修会部門会議・学習会
12/7(土)	12:00 14:00	～8(日)12:00 第 18 組煤払い奉仕団 真宗学院
12/9(月)	10:00	～10 日(火)15:00 秋安居
12/11(水)	18:00 18:30	別院声明教室 別院書道教室
12/12(木)	14:00 15:30	教化ｾﾝﾀｰ 教化審議会 子ども奉仕団
12/14(土)	14:00	～15 日(日) 教区推進員前期教習 真宗学院 同朋大学同窓生有志の講演会
12/19(木)	14:00	教化ｾﾝﾀｰ
12/21(土)	14:00 17:30	真宗学院 仏青交流研修会～お坊さんはｽﾊﾟ研にいる
12/25(水)	14:00 18:30	企画委員会 別院書道教室
12/26(木)	14:00	教化ｾﾝﾀｰ
12/27(金)	13:30	宗祖御命日逮夜法要
12/28(土)	10:00	宗祖御命日日中法要

新 潟 親 鸞 学 会 か ら の お 知 ら せ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Email choganji@nifty.com